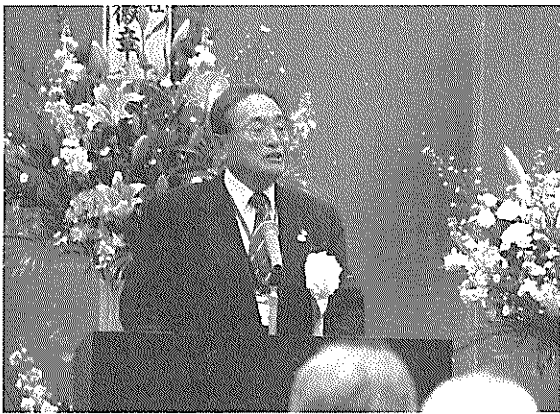


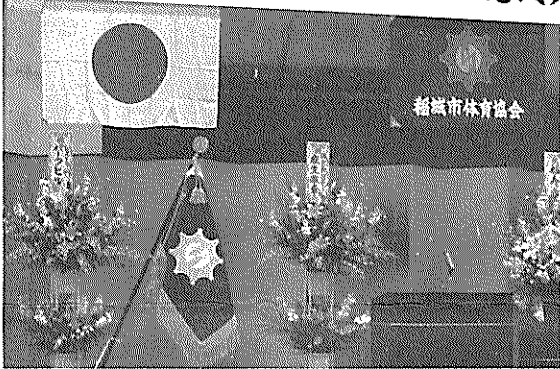
稲城市体協

発行 稲城市体育協会
 電話 042(378)2111
 内線 (642)
 編集 稲城市体育協会
 広報委員会
 発行日 平成21年1月15日
 通巻 第 43 号



▲福島会長あいさつ

稲城市体育協会創立四十周年記念式典



記念講演

テーマ「夢は、はてしなく永遠に」

講師 池谷 幸雄 氏

プロフィール

1993年 日本体育大学卒業
 財団法人 日本体操協会理事
 財団法人 日本体操協会女子体操競技委員会強化部副部長
 社団法人 全日本ジュニア体操クラブ連盟理事
 社団法人 全日本ジュニア体操クラブ連盟専門委員会委員
 1988年ソウルオリンピックでは団体、個人床で銅メダル。
 1992年バルセロナオリンピック団体で銅メダル、個人床で銀メダルを獲得。二度のオリンピック出場
 で体操人生に終止符を打ち、タレント池谷幸雄として第二の人生を歩む。
 テレビ、ドラマ、舞台、バラエティ、キャスター、体操コメンテーターなど幅広い分野で活躍中。
 平成13年より「池谷幸雄体操倶楽部」主宰
 特に平成13年より開設している池谷幸雄体操倶楽部については、体操を通じて「健康」「しつけ」「技能」をキーワードにバランスのとれた心身を育むことを指導理念として体操の普及に努めている。

去る11月8日(土)総合体育館にて、表記の式典が開催されました。当日は、国会議員、稲城市長はじめ、各市の体育協会役員、稲城市体育行政の歴代の関係者の方々が多く来賓として出席を頂き、又体育協会加盟の各連盟からの参加者により、盛大に開催されました。第一部の式典に続き、第二部の記念講演では、かつてのオリンピックで数々の栄冠に輝いた、日本体操協会理事の池谷幸雄氏による「夢は、はてしなく永遠に」をテーマに魅力あるお話をさせて頂きました。続く第三部のアトラクションで

は東京都立国際高校チアリーディング部リズムスの女子生徒による躍動感あふれる演技に、会場からは万雷の拍手が、しばし鳴りやまぬことでした。式典会場のメインアリーナからウェルネスアリーナへ場所を移動した祝賀会場では、樽酒の鏡開きに始まり、各参加者の間で親しく懇談の輪が広がり、華やかな宴となりました。

当日の受付をはじめ、各役割を分担して頂いた役員、理事の皆さん、ご苦労さまでした。



稲城市体育協会はお陰様で40周年を迎えました。去る11月8日多くの方々のご臨席を賜り記念式典を盛大に開催することが出来、私にとりましてこの上ない喜びであります。40年前、わずか7団体で発足した協会も、現在では22団体6、500余人の会員を擁する組織団体になって参りました。

発足当時はこれという施設もなく耐えてまいりましたが、平成の時代に入りグラウンドを始め野球場・テニスコート・体育館等が整備・完成し、平成4年7月に第26回市町村大会を無事運営出来たことを誇りに

今日までなにかとご指導・ご協力をいただきました関係各位に心から感謝申し上げますと共に、今後尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。御礼のご挨拶と致します。

稲城市体育協会会長 福島 佐一

思っております。体育協会はアスリートを養成する団体ではなく、市民がいつでも生涯スポーツを通して楽しく生活が出来るように努めることだと思っております。

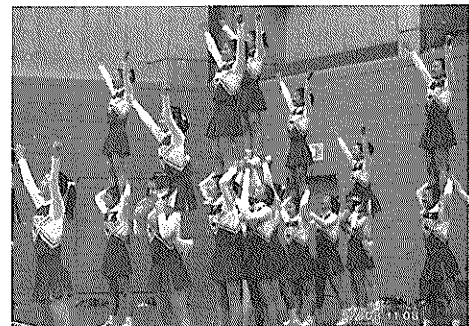
この40周年を新たな出発点として役員、そして加盟団体と共に市民福祉向上に努力して参りましょう。

創立四十周年を迎えて

稲城市体育協会会長 福島 佐一

東京都立国際高校のチアリーディング部 リズムスの演技

- | | |
|-------|--|
| 1995年 | 創部 |
| 2003年 | 全日本高等学校チアリーディング選手権 準優勝
全日本選抜選手権高等学校の部 優勝 |
| 2004年 | 全日本高等学校チアリーディング選手権大会 優勝
関東大会優勝、Japan Cup準優勝 |
| 2005年 | 関東大会 優勝 |
| 2007年 | 関東大会 優勝 |
| 2008年 | 関東大会 第4位 |



アトラクション

祝賀会





平成二十年度 体育協会

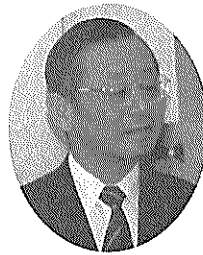
評議員会開催

稲城市体育協会の平成二十年度評議員会が4月25日、地域振興プラザ会議室において開催されました。
福島会長の挨拶のあと、十九年度事業経過報告、会計及び監査報告が行われ、二十年度事業計画(案)、収支予算(案)、創立40周年記念事業特別会計予算(案)が審議の上、承認されました。
今年度は特に40周年記念事業を11月8日(土)に実施する為、実行委員会において式典の内容や運営、役割等について具体的な取組みがあげられました。

よろこび

東京都体育協会
生涯スポーツ功労者表彰

鈴木保彦さん
会計理事

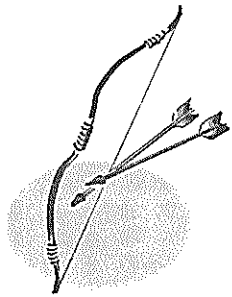


東京都市町村体育協会連合会
功労表彰

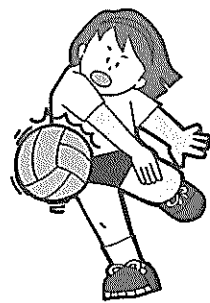
鎌田絹江さん
(バレーボール連盟)



平成5年弓道連盟創立以来、体協理事として活躍し、平成11年に常任理事に就任。現在は会計も兼任されて重責を担われています。又、広報委員としてもその知識を発揮され、ますますその活躍が期待されます。



鎌田さんは、活動年数30年のうち連盟副理事長として24年間競技委員長を兼務しながら貢献されました。各大会の開催をはじめ地域での指導、体育振興会の役員としても活躍されています。



稲城市一般表彰

山本忠温さん
(サッカー連盟)

昭和54年にFC平尾(少年サッカー)のコーチに就任し、以来少年サッカーの普及振興に貢献。又審判員の資格も取得され、その道の模範として活躍されています。

稲城市体育協会
一般表彰

戸田 昭夫さん
(軟式野球)

川島 義顕さん
(ソフトボール)

中村 真人さん
(弓道)

感謝状

野呂 民雄さん
(弓道)

団体受賞

東京都教育委員会スポーツ
功労団体表彰

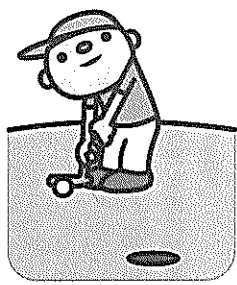
射撃連盟

昭和49年稲城市猟友会の結成を基礎に、昭和53年の協会加盟以来今日まで射撃競技の普及振興に努めている。現在会員35人にて、かつては市町村大会、東京都射撃協会大会等で優秀な成績を納めている。益々の発展を祈ります。

東京都体育協会
生涯スポーツ優良団体表彰

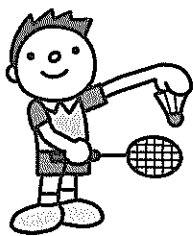
稲城市ゴルフ協会

平成10年に91名で発足。現在では130余名の会員数に発展。市民大会等を主催し、生涯スポーツの振興並びにジュニア育成事業にも取り組む日々努力している活動が評価されました。



東京都市町村体育協会連合会
特別功労表彰

齋藤 博さん
(バドミントン)



『大分国体』に参加して

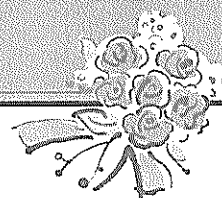
稲城市体育協会
会長 福島 佐一

第63回国民体育大会は平成20年9月27日、天皇・皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、「チャレンジおおいた国体」のスローガンのもと、大分市九州石油ドームで開催されました。
大分県は県民126万人、会場は町から離れていましたが、3万5千人の人々から素晴らしい歓迎を受けました。私は今年も副団長で参加させていただきました。午後6時より両陛下のお泊りのホテルで催されたレセプションにも参加し、お近くで両陛下にお目にかかり感激いたしました。

大会は47都道府県から2万人余の選手・役員が参加、10月7日までの会期中で35競技が熱戦を繰り広げました。都選手団は620人余、翌28日から私達はバスケット、卓球を始め各競技会場への応援と併せ会場等の視察をして参りました。学校の体育館、会社の施設も会場となり、立派に競技のできることを見て、東京(多摩国体)開催への自信となりました。会場が県下全域ですので、1日2会場を回るといふことは試合の組み合わせ等で大変難しいことを今年も感じました。

出発時東京は最低でも第2位は確保したいとの思いで、現地入りしましたが、各選手の健闘と活躍のもと、昨年につづき第2位を確保でき安堵いたしました。東京(多摩)国体は4年先、都・各競技団体・各地区体育協会等が力を併せて運営・競技力向上等に一層頑張らねばと、思いを新たに次第です。

体協40周年記念



実行委員の皆さん



40周年記念体協旗

連盟あれこれ

一般の部で見事優勝

(南多摩五市親善大会)

ソフトボール連盟

本年度のトップニュースは、今年で第二十九回を迎えた南多摩五市(稲城、多摩、町田、日野、八王子)親善大会で一般男子の部において「稲城選抜」チームが優勝を果たした事です。今年稲城市が主催であり、ホームで錦を飾ったと言えます。これは二十五年ぶりの快挙で、決勝戦では本部役員も応援に熱が入りました。次に同じく稲城で開催された「壮年男子東京都大会」において「若葉台壮年」が二年連続三度目のベスト四となりました。残念ながら、準決勝突破の壁は厚く、昨年同様四位に終わりましたが、メンバー平均年齢から見れば投手を強化すれば、より上位を狙える手応えを感じております。以上は上部大会の結果報告です。連盟の状況についても報告します。昨今若者のスポーツ離れが言われていますが、連盟内各チーム共若者達の姿が多く見られ、今後稲城市全体のレベルアップにつながって行くものと期待が持てます。最後に、本年度は我々連盟が主体となり、春秋の定例大会以外に上部大会を三大会運営しました。六月開催「壮年男子東



▲稲城選抜チーム

京都市大会、七月開催「南多摩五市親善大会」、十一月開催「エルダー、エルデスト関東大会」ですが、これら大会の開催に当り稲城市関係各位と連盟各チームの絶大な支援により無事に終了する事が出来ました。この紙面をもって御礼申し上げます。(岸田 記)

さわやか姉妹

稲城市柔道連盟

柔道連盟は昨年第10回記念大会を、近郷小中学生650人の参加を得て挙げてきました。これは、稲城市体育協会を始め多



くの方々にご指導やご支援を頂いたおかげであると、一同心から感謝しております。10年の間に講道館柔道の技と精神を厳しく指導して、「勢力善用・自他共栄」の精神を持つ青年達を社会に送り出しました。

紹介するさわやか姉妹は、連盟結成時小学校1年生で入門した姉「田中昌美」さん、小学校2年生から入門した妹「田中珠美」さんです。苦しく辛い稽古に励み、中学2年でみごとに初段合格して現在は、都立高校で女子柔道部がある「杉並工業高校」で、男子学生に混じって柔道修行に励んでいます。

夏休みに実施した、ジュニア育成事業の「夏期集中稽古」にも、姉妹は合宿や遠征稽古の中を、かわいい後輩のために参加して指導してくれました。

稲城市柔道連盟から高体連柔道部で活躍しているのは田中姉妹が初めてです。今後この田中姉妹に続いて、高体連柔道、さらに学業連柔道に進み、世界に羽ばたく稲城出身の若き柔道家が、オリンピック選手や「自他共栄」の精神で社会活動に活躍をしてくれると信じ講道館柔道の指導をしてまいります。(島津 記)

東京都大会 個人戦の戦績

空手道連盟

●第22回、小学生大会

6月1日、東京武道館 全日本少年少女大会の選手選考を兼ねるこの大会は、本年も形1191名(13)組手1235名(12)計2426名の東京都全区市から選抜された少年少女が集まり、熾烈な競技を展開した。*()は当市の選手数

●形競技、昨年1年生で三位に入賞した中田吹雪君は、二年生で参加し、三回戦で敗退、初出場の三年生、小瀬智樹君は四回戦で敗れ入賞を逸した。

▲組手競技では四年生の渡辺玲男君が一回戦で入賞の五回戦で惜敗したが、一回戦に一本上段の回し蹴りを決め練習の成果を見せた。他の選手も一、三回戦で健闘及ばず敗退したが、昨年よりも、全体的にレベルアップし来期に期待が持てた。

■第38回東京都選手権 (団体選考兼)

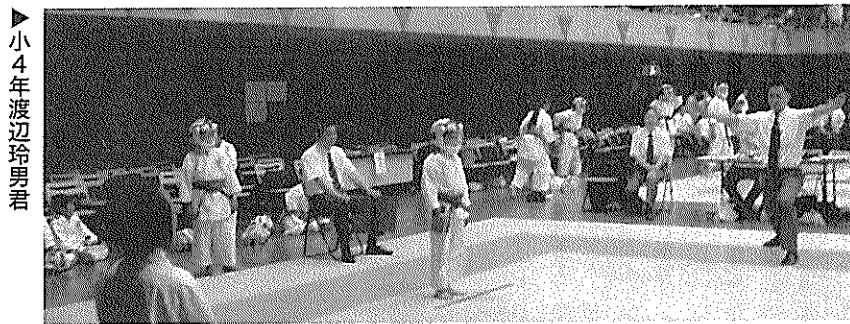
●6月15日、東京武道館

形競技2名ベスト8入賞(8)計742名(13)の区市を代表する精鋭が参加し、高レベルの熱戦を展開した。組合せの山には、団体、関東大会の強化選手が配され、勝ち抜くことは容易でない。18歳に成長し、一般男子に初陣の田倉優太武段は、華麗な形を見事に演じ、5回戦で全国に名を知られる茂木選手と対戦し、豪快さに敗れたが、指導者に育つ今後が楽しみである。ベテランの矢野剛敏五段は当然のように五回戦に進んだが、新進の藤本選手に敗れ、二人とも五位に入賞した。矢野五段は、二年連続五回目的の入賞、来年は3位以上を目指してほしい。

組手競技は、矢野剛敏五段が二十代の選手を相手に健闘し、三回戦で団体の強化選手に敗れたが、三五歳で後進の模範となる年齢を超えた精神性は立派。

●第22回、東京都中学生大会

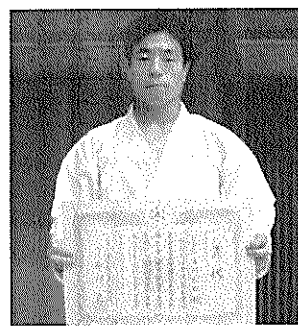
7月27日、東京武道館 形競技427名(12)組手470名(11)計897名(23)の選手が酷暑の中熱戦を展開したが、市連盟の選手は入賞者が無く、期待された瀧野選手も組手4回戦で敗退した。上位入賞者は殆どが、高校空手部に付属する中学の部員で、市連盟の選手のように、学校の部活をこなすの合間に練習を行うのと異なり、練習量が豊富である。しかし長い目で考えれば、中学生のこの時期に、地域の学友達と楽しく交わり、種々の競技を学ぶことも、この年代の少年達には重要なことだと考える。高校に進学して体力を養いながら、生涯空手道に励んでほしいと願います。(神田 記)



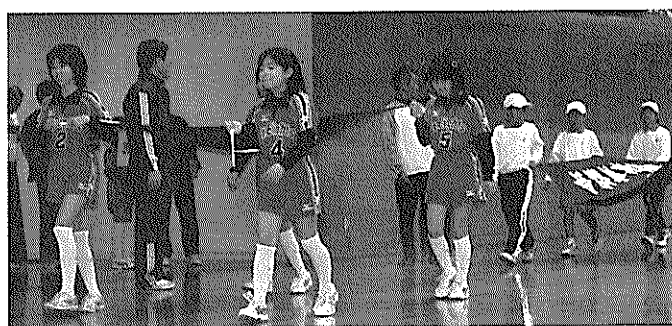
▶小4年渡辺玲男君



▶田倉優太武段5位入賞



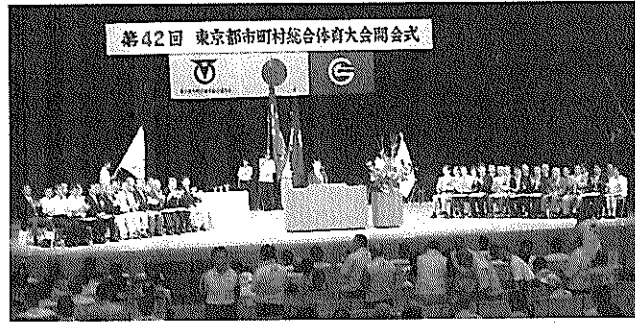
▶矢野剛敏五段5位入賞



▶市民スポーツ大会入場式



▶都民体育大会開会式、結団式



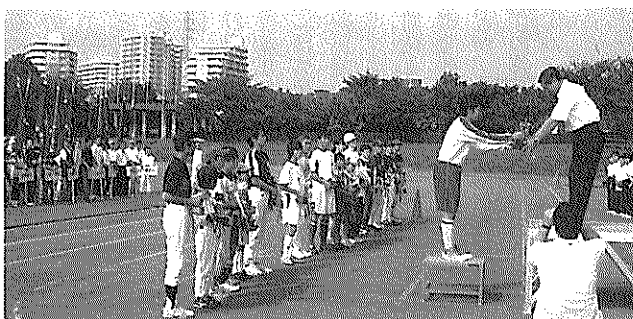
各種大会結果

第61回都民体育大会(春季大会)
開会式 日時:平成20年5月11日(日)
会場:駒沢オリンピック公園 体育館
大会期間:平成20年4月19日(土)~6月8日(日)
競技名 試合結果
剣道 1回戦 シード
2回戦 世田谷区0-4
サッカー 1回戦 日野市0-4
弓道 男子 予選敗退
女子 予選敗退
射撃 総合第29位(参加34チーム中)
トラップ競技 30位
スキート競技 28位
バレーボール 女子 1回戦 昭島市2-1
2回戦 小平市0-2
軟式野球 1回戦 青梅市13-4
2回戦 東久留米市0-3
バドミントン 男子 1回戦 渋谷区1-2
1回戦 小平市1-2
ソフトボール 男子 1回戦 シード
2回戦 町田市1-10
女子 第8位
1回戦 シード
2回戦 豊島区10-1
3回戦 清瀬市7-0
準々決勝 西東京市0-10
空手道 1回戦 シード
2回戦 江東区2-2(内容判定により敗退)
テニス 男子 1回戦 台東区 1-2
女子 第8位
1回戦 シード
2回戦 豊島区2-1
3回戦 葛飾区2-0
準々決勝 中野区1-2
卓球 男子 1回戦 日野市1-3
1回戦 台東区3-0
2回戦 中央区3-0
3回戦 武蔵野市1-3
ソフトテニス 男子 1回戦 清瀬市5-0
2回戦 小平市2-3
女子 1回戦 羽村市3-0
2回戦 青梅市1-2
バスケットボール 男子 1回戦 シード
2回戦 港区73-103
ゲートボール 男子 立川市9-17 江東区5-25
女子 立川市11-15 千代田区13-14
ダンススポーツ 総合22位(参加31団体)
*総合順位 参加54地区中 男子42位・女子33位
*15競技・38部門

第42回市町村総合体育大会
開会式 日時:平成20年7月26日(土)
会場:調布市グリーンホール 大ホール
大会期間:平成20年7月20日(日)~8月3日(日)
(一部7月5日(土)から開始)
競技名 試合結果
空手道 第5位
1回戦 シード
2回戦 武蔵村山市3-2
3回戦 町田市 0-3
剣道 男子 第5位
1回戦 東久留米市2-1 2回戦 国立市3-2
3回戦 町田市2-3
女子 1回戦 日野市1-1(代表戦負け)
弓道 予選敗退
卓球 男子 1回戦 奥多摩町3-0
2回戦 三鷹市0-3
女子 1回戦 羽村市3-0
2回戦 立川市1-3
射撃 総合第14位(16チーム中)
トラップ 第16位
スキート 第10位
バレーボール 女子 1回戦 西東京市0-2
バドミントン 男子 第5位
1回戦 福生市:棄権
2回戦 三鷹市3-0
3回戦 調布市0-2
女子 1回戦 国分寺市1-2
ソフトテニス 男子 1回戦 あきる野市3-2
2回戦 昭島市2-3
女子 1回戦 国分寺市1-2
軟式野球 1回戦 昭島市8-1
2回戦 奥多摩町1-2
ゲートボール 0勝2敗 八王子市7-14
調布市10-11
*総合順位 20位(30地区中) 男子20位(30地区中)
女子21位(30地区中)
*10競技・26部門

平成20年度 都民生涯スポーツ大会
大会期間:平成20年8月9日(土)~9月15日(祝)
競技名 試合結果
サッカー 40才以上 小平市5-1
50才以上 板橋区3-2
弓道 予選通過ならず
ダンススポーツ 総合第3位(参加30団体)
D級相当以下戦 決勝 4位
1級相当以下戦 決勝 優勝
2級相当以下戦 一次予選
3級相当以下戦 準決勝
4級相当以下戦 準決勝
50歳以上戦 決勝 4位
60歳以上戦 決勝 4位
ソフトボール 女子 1回戦 シード
2回戦 墨田区:抽選負け
テニス 準優勝 1位 トーナメント
1回戦 シード
2回戦 目黒区2-1
準決勝 府中市2-1
決勝 武蔵野市1-2
陸上競技 砲丸投げ Fクラス 優勝
円盤投げ Fクラス 優勝
砲丸投げ Fクラス 第5位
やり投げ Fクラス 第3位
ソフトテニス 一次リーグ 品川区1-2 墨田区3-0
昭島市0-3 新宿区1-2
バドミントン 男女混合団体戦 1回戦 世田谷区1-2
親善交流試合 調布市2-1
ソフトバレーボール 9人制男女混合 第3位 東村山市2-0
江戸川区1-2
武蔵野市2-1
4人制トリム・ブロンズ 優勝
中央区2-0
江戸川区2-0
目黒区2-0
ゲートボール 雨天のため中止
*10競技・25部門

第40回稲城市民体育大会
大会期間:平成20年9月7日(日)~21年1月



9月7日(日)稲城市総合グラウンドにおいて総合開会式が行われ、22競技にレクリエーション競技を加えてスタートしました。
年々多くの市民の参加を得て「市民一人一スポーツ」をめざします。
市民体育大会開会式



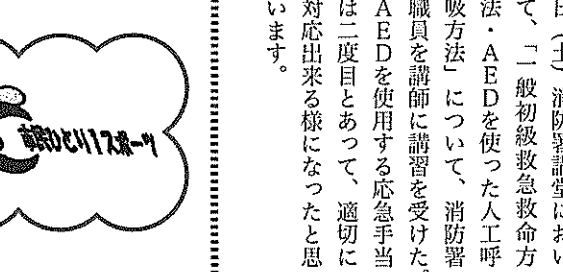
編集後記
創立40周年記念事業が皆さんの努力で終了出来ました。
40年の歴史は、行政をはじめ各連盟や諸先輩方のご指導・ご努力の賜と致します。
生涯スポーツや健康維持のために、さらには青少年の健全育成にも社会体育の振興への期待に応える次のスタートであります。
体協だよりは43号を数えますが、記念誌年譜の中にその歴史の一部を紹介しています。
本号は通年より少し遅れての発行になりました。

- 相 委 編
談 員 集
役 員 長
志村 福島 徳永 玉木 高橋 宮崎 吉野 小山 鈴木 南 池水
寛 一 佐 隆 寛 三 保 和
一 覚 シ 夫 康 男 彦 彰

第36回稲城市スポーツ大会開催



4月13日(日)稲城市総合体育館にて総合開会式が行われた。「体力づくりの輪を広げよう」を合言葉に熱戦が展開されました。



体育協会研修会は2月2日(土)消防署講堂において、「一般初級救急救命方法・AEDを使った人工呼吸方法」について、消防署職員を講師に講習を受けた。AEDを使用する応急手当は二度目とあって、適切に対応出来る様になったと思います。

体育協会研修会